広島大学

第 197 回 学長定例記者会見　発表事項 3

令和８年 11 月 25 日

国立６大学が連携し、医学生の海外臨床実習の機会を拡大
―海外の実習先を共有する新たな仕組みを構築、2027 年度から開始 ―

広島大学を主幹校とする国立大学６校[*1]の医学部は、医学生の海外臨床実習の機会を広げるため、「西日本海外臨床実習コンソーシアム（West Japan Overseas Clinical Clerkship Consortium：WJ-OCCC）」を設立しました。

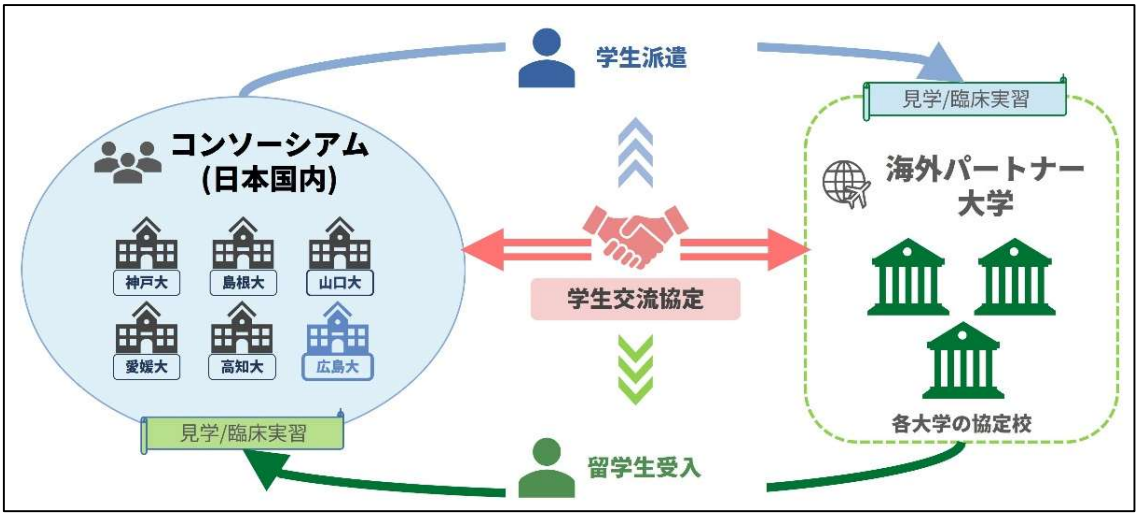
これまで、医学生が海外で臨床実習を行う場合、原則として所属大学が協定を締結している海外大学などに実習先が限られていました。
今回の連携により、６大学がそれぞれ持つ海外大学とのネットワークを共有し、所属大学が直接協定を結んでいない海外大学においても臨床実習に参加できる新たな仕組みを構築しました。

令和９（2027）年度からは、台湾、タイ、インドネシアの３大学との間で海外パートナー大学[*2]との「海外臨床実習交流プログラム」を開始し、医学生の派遣と海外からの学生の受入れを進め、国際的な視野と実践力を備えた高度医療人材の育成を目指します。

[*1]「コンソーシアム加盟大学」
神戸大学医学部、島根大学医学部、山口大学医学部、愛媛大学医学部、高知大学医学部、広島大学医学部

[*2]「海外パートナー大学」（令和８（2026）年 10 月現在）
台湾・マッカイ医科大学　医学部
タイ・コンケン大学　医学部
インドネシア・アイルランガ大学　医学部

海外臨床実習交流プログラム・交流の一例



【背景】

令和６（2024）年、文部科学省「高度医療人材養成拠点形成事業（タイプA）」に、広島大学の「平和科学を基盤とする臨床基礎融合を目指した人材養成イニシアティブ ～SPARK! Plan for MED～」が採択されました。本コンソーシアムは、その取り組みの一環として、医学生の海外臨床実習機会の拡充を目的に、本学と協力機関大学である神戸大学、島根大学、山口大学、愛媛大学、高知大学との連携により設立したものです。

近年、医療の国際化が進展する中、多様な価値観や文化的背景を理解しながら医療を実践できる人材の育成が求められています。一方で、海外臨床実習の実施には海外大学との協定締結や受入体制整備が必要であり、各大学が単独で実習先を拡充するには限界があります。

そこで本コンソーシアムでは、加盟大学が有する国際連携ネットワークを共有し、限られた教育資源を有効活用することで、学生により多くの海外臨床実習の機会を提供する仕組みを構築しました。これにより、学生は所属大学が直接協定を締結していない海外大学においても実習先を選択できるようになり、多様な医療制度や文化的背景のもとで学ぶ機会が拡大します。

【今後の展開】

令和９（2027）年度から「海外臨床実習交流プログラム」を開始し、加盟大学の医学生を海外パートナー大学へ派遣するとともに、海外からの学生の受入れを進めます。

今後は海外パートナー大学の拡充を進め、学生がより多様な地域・医療環境で学べる機会を充実させる予定です。大学間の連携強化や教育資源の共有、国際的な人的ネットワークの形成を通じて、幅広く活躍できるグローバル医療人材の育成を推進していきます。

■参考

項　目	内　容
海外臨床実習の具体的な内容	派遣先大学の実習計画に基づく外来診療や病棟での診察への参加、指導医の指示のもとでの医行為など
海外臨床実習の期間	原則 4～8 週間程度（派遣元大学と派遣先大学との調整により決定）
海外臨床実習の必要性・教育的効果	異なる医療制度や文化的背景に触れることによる、国際的な視野、異文化理解力、多様性への対応力及び国際的なコミュニケーション能力の向上。また、日本の医療を客観的に捉える視点や主体的に学ぶ姿勢の涵養
他地域における同様の取り組みの有無	把握している限り、同様の取り組みは確認できず

【お問い合わせ先】

広島大学霞地区運営支援部　国際室
（西日本海外臨床実習コンソーシアム事務局）
E-mail: kasumi-kokusai@office.hiroshima-u.ac.jp
TEL:082-257-1705　　FAX:082-257-5278

＜参考：広島大学医学部医学科における学生の海外派遣、受入れ実績（過去３年間）＞

番号	派　遣　先	国　名	派遣年次	単位取得	現行の派遣枠（人数）	派遣実績(※)			受入実績		
						R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
1	ペンシルベニア大学	米　国	5年及び6年	可	1	1	0	0		1	1
2	ハノーファー医科大学	ドイツ	5年及び6年	可	2	2	2	2		2	2
3	グラーツ医科大学	オーストリア	5年及び6年	可	3	3	3	3	3	2	2
4	デュイスブルクエッセン大学	ドイツ	5年及び6年	可	2	3	3	3			1
5	ルール大学ボーフム	ドイツ	5年及び6年	可	3	募集なし	3	募集なし			
6	国立台湾大学	台　湾	5年及び6年	可	2	2	2	2	1		
7	台北医学大学	台　湾	5年及び6年	可	2	2	2	2			2
8	マッカイ医科大学	台　湾	5年及び6年	可	2	0	2	2		2	2
9	アイルランガ大学医学部	インドネシア	5年及び6年	可	1	1	1	2			2
10	健康科学大学（UHS）	カンボジア	5年及び6年	可	2（予定）	0	1	2		4	2
11	IPPNWドイツ支部	ドイツ	5年及び6年	可	1	1	1	1			2
					計	15	20	19	4	11	16

※　派遣実績（同学年内で集計、応募した年度に記載）